## 人材枯渇時代にどう対応すべきか

一人が成長し、活き活きとした職場づくりこそ根本解決策一

いよいよ「新卒採用2021年問題」と言われる初年度を迎えました。 この問題とは、新卒世代(22才)の人口が2010年代のほぼ横ばいから、減少トレンドに入ることを指します。

## 22才人口の推移

2020年:124.4万人 2022年:122.7万人 2025年:115.1万人 2030年:110.9万人

また、帝国データバンクによると、一昨年の"人手不足倒産"は、185件となり、4年連続で過去最多となったそうです。まさに人材不足時代から、人材枯渇時代に入ったと言えそうです。このような時代に企業はどう立ち向かったらよいのでしょうか。

各企業での取り組みを見ると、「通年採用」「中途採用」「インターンシップの 充実で早期に人材確保」等々、採用方法を試行錯誤しているようです。採用担当 者のご苦労は並大抵ではありません。

しかし、せっかく採用できてもすぐに退職されてしまっては意味がありません。 ざるに水を入れているようなものです。担当者のご苦労は永遠に続くことにもな りかねません。

あるネット調査会社が、若者に「どのような企業に魅力を感じるか」というアンケートを行いました。その結果は「社内の雰囲気がよく、成長できる環境」が圧倒的な1位でした。

この結果から考えると、社員が成長を感じられ、活き活きとした職場環境を作ることが、さらに良い人材採用に繋がるのではないでしょうか。また、社員が成長し、業績が向上しなければ、採用活動や、職場環境改善のためのコストをかけられません。何よりも、人を増やすということは、最大の固定経費を増やすことでもあります。高い業績を上げられる人材育成こそ、この時代を乗り切る根本課題と言えます。

弊社では、貴社の求める人材育成プランからご相談させていただき、最適な研修 をご提案いたします。是非、ご興味・ご質問がございましたら、下記よりお問い 合わせ下さい。



> お問い合わせはこちら